

## 福井県立病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	当院のHBOC患者におけるリスク低減卵管卵巣摘出術に関する臨床的検討
研究責任者 (所属)	大田 浩司(外科主任医長)
本研究の目的	BRCA1/2病的バリエーション保持者に対するリスク低減卵管卵巣摘出術(Risk-reducing salpingo-oophorectomy, RRSO)は、卵巣癌の発症予防や全生存期間を延長することが報告されており、遺伝性乳癌卵巣癌(Hereditary breast and ovarian cancer, HBOC)における有効な手段である。RRSOによる早期介入が推奨されるなかで、患者の意思決定には年齢や分娩歴などの多様な要素が影響する。本研究は、乳癌既発症HBOC患者が、HBOCと診断されてからRRSO施行までの期間に影響を与える因子について検討することを目的とする。
研究対象期間	2020年12月から2026年6月
研究の方法 (使用する資料等)	●対象となる患者さま: 福井県立病院にてRRSOを行った乳癌既発症HBOCの方。 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療情報(遺伝学的検査の結果、乳癌に罹患したこと、年齢、分娩歴、化学療法歴、家族歴)
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究への参加、不参加はオプトアウトを用いて行います。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話:0776-54-5151 担当者:経営管理課 倫理担当 (内線:2043/2047)
お問い合わせ期間(研究参加への拒否ができる期間)	2026年1月31日から2026年4月30日まで
備考	本研究は第34回日本乳癌学会学術総会にて発表予定